

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公表番号】特表 2005-529910 (P2005-529910A)

【公表日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2005-039

【出願番号】特願 2004-501425 (P2004-501425)

【国際特許分類】

C 0 7 H 15/18 (2006.01)

C 0 7 D 309/14 (2006.01)

C 0 7 H 1/00 (2006.01)

C 0 7 H 15/26 (2006.01)

C 0 7 H 17/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 H 15/18

C 0 7 D 309/14

C 0 7 H 1/00

C 0 7 H 15/26 Z C C

C 0 7 H 17/04 C S P

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 6 日 (2006.2.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

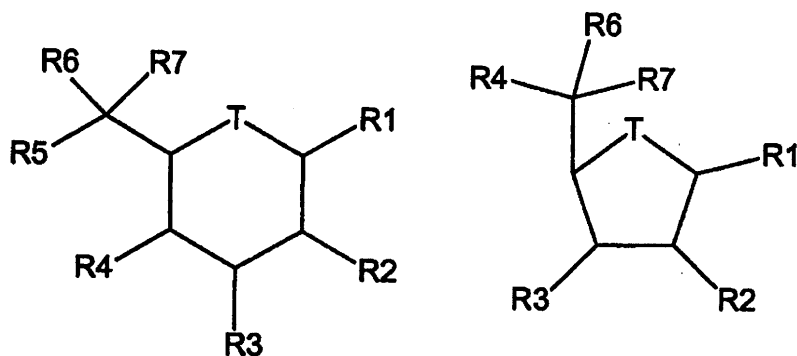
式 I

A - d - L - e - B

式 I

〔ここで、A および B は、独立して以下より選択され

【化 1】



T は、O であり；

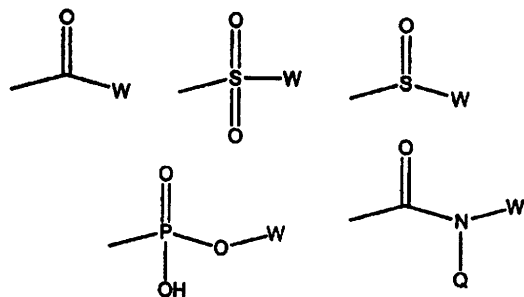
R 6 および R 7 は、水素であるか、または一緒になってカルボニル酸素を形成し；

R 1 は、水素、- N (Z) Y、- C (Z) Y、O Z または S Z であり、ここで；

R 1 が - N (Z) Y である場合 ;

Y は、水素または以下からなる群より選択され ;

【化 2】



ここで、

Z は、水素または X 1 より選択され、

Q は、水素または W より選択され、

W は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され ;

X 1 は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

R 1 が - C (Z) Y である場合 :

Y は、なし (absent) であるか、水素、カルボニルを形成する二重結合の酸素 (= O)、またはニトリルを形成する三重結合の窒素から選択され、

Z は、なしであるか、または水素もしくは X 2 より選択され、

ここで、X 2 は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アミノアルキル、アミノアリール、アリールオキシ、アルコキシ、ヘテロアリールオキシ、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリール、もしくはチオヘテロアリール、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

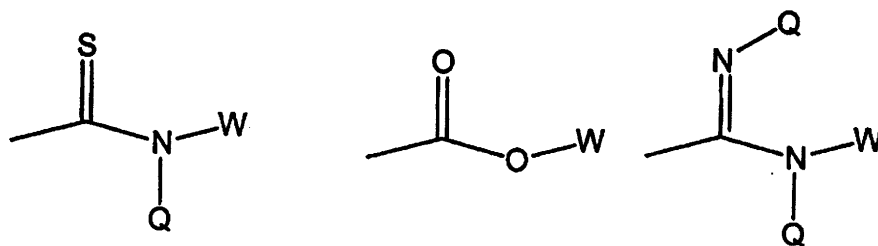
R 1 が O Z または S Z である場合、

Z は、水素または X 3 より選択され、

ここで、X 3 は、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルからなる群より選択され、

R 2、R 3、R 4 および R 5 基は、水素、N₃、OH、OX 4、N (Z) Y からなる群より選択され、ここで、N (Z) Y は、上に定義される通りであるか、または Y は、

【化 3】



であり、

ここで、Q および W は、上に定義される通りであり、

そして、X 4 は、独立して、1 ~ 20 非水素原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アミノアルキル、アミノアリール、アリールオキシ、アルコキシ、ヘテ

ロアリアルオキシ、アミノアリアル、アミノヘテロアリアル、アルキルカルバモイル、アリアルカルバモイル、もしくはヘテロアリアルカルバモイル、アシル、アリアルアシル、ヘテロアリアルアシル、アリアル、ヘテロアリアル、アリアルアルキルまたはヘテロアリアルアルキルからなる群より選択され、

d および e は、A および B についての結合点を示し、A および B 基の各々における R₁、R₂、R₃、R₄ または R₅ 基の 1 つを置換し、リンカー L についての結合点を形成し、

d は共有結合であり、e は - O - であり、L は、なしである、

ただし、

a) いずれの環上の R₁ ~ R₅ 基のいずれも一緒に結合して環を形成しなくてもよく、

b) 基が OX₄ である場合、X₄ は、炭水化物合成において一般的に使用される、アセチル、クロロアセチル、ジクロロアセチル、トリクロロアセチル、トリフルオロアセチル、ベンゾイル、ピバロイル、またはレプリノイル保護基でなくてもよく、

c) X₄ は、別の炭水化物環、シクリトール環でなくてもよく、或いは別の炭水化物環を含んでもよく、

d) 各環上の R₂ ~ R₅ の少なくとも 1 つは、OX₄ または N(Z)Y でなければならず、

e) 全ての X₄ 置換基は、同じでなくてもよく、

f) 両方の環上の R₂ が N(Z)Y である場合、R₁ は O-アリアルでなくてもよく、そして

g) 式 I の化合物は、OX₄ または N(Z)Y より選択される少なくとも 2 つのそして 7 を超えない置換基を含まなければならない]

の二糖化合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

Z は、水素または X₁ より選択され；

Q は、水素または W より選択され；

Z および Y 基は、組み合わせられて、4 ~ 10 原子の単環式または二環式環構造を形成し得る。この環構造は、X₁ 基でさらに置換され得る；

W 基は、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アリアル、ヘテロアリアル、アリアルアルキルまたはヘテロアリアルアルキルより独立して選択される。代表的な置換基としては、OH、NO、NO₂、NH₂、N₃、ハロゲン、CF₃、CHF₂、CH₂F、ニトリル、アルコキシ、アリアルオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリアル、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリアル、アミノアルキル、アミノジアルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸が挙げられるがこれらに限定されない；

X₁ 基は、独立して、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリアルアシル、ヘテロアリアルアシル、アリアル、ヘテロアリアル、アリアルアルキルまたはヘテロアリアルアルキルより選択される。代表的な置換基としては、OH、NO、NO₂、NH₂、N₃、ハロゲン、CF₃、CHF₂、CH₂F、ニトリル、アルコキシ、アリアルオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリアル、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリアル、アミノアルキル、アミノジア

ルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸が挙げられるがこれらに限定されない；

R 1 が - C (Z) Y である場合；

Y は、存在する場合、水素、カルボニルを形成する二重結合の酸素 (= O)、またはニトリルを形成する三重結合の窒素より選択され、

Z は、必要に応じてなしであり得、または水素もしくは X 2 より選択され、

ここで、X 2 は、独立して、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アミノアルキル、アミノアリール、アリールオキシ、アルコキシ、ヘテロアリールオキシ、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリール、もしくはチオヘテロアリール、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルおよびヘテロアリールアルキルより選択される。代表的な置換基としては、必要に応じて更に置換され得る、OH、NO、NO₂、NH₂、N₃、ハロゲン、CF₃、CHF₂、CH₂F、ニトリル、アルコキシ、アリールオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリール、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、アミノアルキル、アミノジアルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸、ヘテロアリールオキシ、アミノアルキル、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリールまたはチオヘテロアリールが挙げられるがこれらに限定されない；

Z 基および Y 基は、組み合わせられて、4 ~ 10 原子の単環式または二環式環構造を形成し得る。この環構造は、X 1 基でさらに置換され得る；

R 1 が O Z または S Z である場合、

Z は、水素または X 3 より選択され、

ここで、X 3 は、独立して、必要に応じて置換された、分枝状および/または直鎖状の、1 ~ 20 原子のアルキル、アルケニル、アルキニル、ヘテロアルキル、アシル、アリールアシル、ヘテロアリールアシル、アリール、ヘテロアリール、アリールアルキルまたはヘテロアリールアルキルより選択される。代表的な置換基としては、必要に応じて更に置換され得る、OH、NO、NO₂、NH₂、N₃、ハロゲン、CF₃、CHF₂、CH₂F、ニトリル、アルコキシ、アリールオキシ、アミジン、グアニジニウム、カルボン酸、カルボン酸エステル、カルボン酸アミド、アリール、シクロアルキル、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、アミノアルキル、アミノジアルキル、アミノトリアルキル、アミノアシル、カルボニル、置換または非置換のイミン、サルフェート、スルホンアミド、ホスフェート、ホスホルアミド、ヒドラジド、ヒドロキサメート、ヒドロキサム酸、ヘテロアリールオキシ、アミノアルキル、アミノアリール、アミノヘテロアリール、チオアルキル、チオアリールまたはチオヘテロアリールが挙げられるがこれらに限定されない；

R 2、R 3、R 4 および R 5 基は、独立して、水素、N₃、OH、OX 4、N (Z) Y からなる群より選択され、ここで、N (Z) Y は、上に定義される通りであるか、またはさらに Y は、